

明 る い 郷 土

住 み よ い 高 萩

市 報
た か は ぎ

第 14 号

毎月一回5日発行

発 行 高 萩 市 役 所
編 集 總 務 課
印 刷 藤 枝 印 刷 所

「第二回市議会臨時会」

新市建設審議会設置條例など可決

追加更正予算額 三百四十四万四千百九十円
予算総額 一億四千九百一十一万三千三百二十二円

爽涼の十月十五日、第二回高萩市議会臨時会を開き、報告事件一件、議案四件を上程慎重審議の結果、いづれも原案のとおり承認、可決された。

報告第一〇号専決処分事項の報告について、
本案は伝染病隔離病舎建設に伴う起債の申請を行うため議会を招集する暇がなかつたので市長が専決処分を行つた報告事件で万場異議なく原案が承認された。

議案第五二号、高萩市新市建設審議会設置條例設定について、
町村合併を行つた市町村の建設計画の実施を促進し健全な発展と未合併町村の合併を強力に推進することを目的として制定された、新市町村建設促進法に基いて設置されたもので本案について次のような質疑応答が交された。

「議員」第二條に委員二十人については市長が任命するよう規定されているが地域を考慮の上任命するようして欲しい。
「議員」第六條中のその他必要な事項は会長が別に定めるとあるが審議会が定めるとした方がよいと思うがどうか。
「總務主事」本條例案は県

議案第四五号、一部事務組合設置について、
本案は伝染病隔離病舎設置により、この運営を高萩市と十王町とで一部事務組合を組織して行おうとするもので組合名を高萩市及び十王町防疫組合と呼称されるが組合議員は規約で高萩市七名、十王町三名と規定された。

「議長」組合議員の選任方法についてお諮りする。
「議員」市長、議長に一任するよう語つていただいた。

「議長」市長、議長一任の意見があつたが副議長を加えて一任願うようにして異議ないか、
異議がなかつたので三者協議で次のとおり発表決定した。

組合議員、矢代光史、櫻村之男、渡辺東治、鈴木広次、鈴木好之、上田助重、下山田栄三郎、
向、昭和三十一年度高萩市及び十王町防疫組合才入才出予算案について事務当局より説明がなされ、これは組合議会で議決されるべき性質のものであるが見積り予算案として一応の審議を行

行い承認された。
議案第五五号、昭和三十一年度高萩市才入才出追加更正予算、
本追加更正予算の内容の主なものは次の通りであり、慎重審議の上可決された。

今回の才入の財源の殆んどは地方交付税と国、県の補助金で市民税で若干の増徴繰越分を見込み之が使途に

ついては

○土木費で常磐線赤浜地内農道踏切工事負担金と土木人夫の失業、健康、災害保険料である。

○教育費で中戸小学校改築工事に係る敷地整地及び石積工事予算の追加更正を行つた。

○社会労務施設費で失業対策事業監督の保険料である。

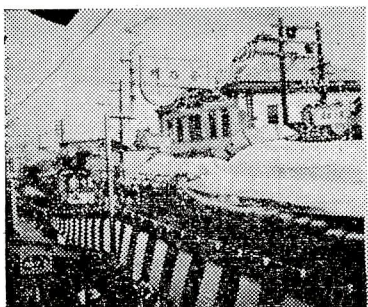
○保健衛生費で防疫組合に対する分担金で高萩市負担三分の一(残り三分の二は両市人口割)エナ焼場移転工事費並に屠場修繕に係る費用である。

○産業経済費で小地城水路堰の改良事業費と市街地町界町名改正祝賀祭の助成金、並に来年実施予定の新農村建設総合対策の準備

才入才出追加額
三、四四四、一九〇円
で本追加は本年度四回で總額一四九、〇一一、三三二円となつた。

盛大に行なはれた

町名改正祝賀祭



去る十四日市街地町名改正の祝賀と併せて本町通りのネオン祭が盛大に行なはれた。

た。懸念された天候も珍らしい秋晴れの天候となり本町、春日町、大和町から綺麗に飾られた山車が繰り出され市役所前でそれぞれ演技を競つたのも市内を巡演それに加へてネオン祭の呼び物として上洲から招いた八木節踊りの賑やかな演技に町を埋めた数万人の観衆は将来の発展を祝い新町名が永久に記念された

改正されたお米の配給

十月一日からお米の配給制度の一部が改正されましたので要点をお知らせいたします。

① いままでの年令別基準配給量は廃止され、一人一日当り三六五グラムに配給量が一本化されました。従つて世帯一日当り配給量は、家族数に三六

五グラムを掛けた数量となる。

② 配給米は「七分撥米」と「完全精米」の二本建てとなりいずれを希望しても配給量に変わりなく値段について差がつけられ

た。

③ お米の値段と配給量は別表のとおり。

(イ) 内地米 (10キロ当り)

	完全精米	七分撥米
基本配給	790円	765円
希望配給	825 //	800 //
準内地米	750 //	—

(ロ) 配給量 (1ヶ月分)

	内地米	準内地米
基本配給	8 日 分	2 日 分
希望配給	10 日 分	—

本年産米は

予想以上の減収

共済対策に乗り出す

本年産米は、いわゆる冷害型として苗代当初より懸念されており、種子及び苗代の消毒と病害虫の防除につとめたが、高岡方面に一部苗くされ病が発生した本田植付時より気温が低下し大凶作の兆し懸々濃厚となつたが、中盤高温となり、生育も急進して一時平年作を上廻るかと思われたが、

中生晩生出穂期の低温に災され、青立ち不稔実の結果を招いた。特に陸稲は高温寡雨の影響により半作以下作況調査の結果は高岡高冷地帯は半作以下となり、平坦地においては平均二割方の減収となり、折角順調な歩みをつづけた予約制に

好ましからざる現象となつた。しかし農家の予約数量の売渡は是非しなければならぬという努力は涙ぐましいものがある。

この異常天候による被害は全国的には豊作(北海道を除く)と伝えられておると、誠に不遇の至りであるが、被害農家に対する共済対策は急務であり、あらゆる調査にもついで共済申請をなし、農家経済安定に努力を注ぎつけている。

電灯がついた

よろこびの部落は

昨三十年度より新生活運動の一環として無電灯部落を解消するため無電灯部落を調査し年次計画により市より補助金を交付して昨年度一部落、今年度二部落に電灯がつけ部落民は明るい電灯の下で喜びにひたつている。この喜びの部落は

① 大字高萩駒木原部落で戸数三九戸の殆んどが開拓農家であり部落内に高萩高等学校の農場もあつて電動機も同時に導入され製氷製粉脱穀の施設も備えられ農家の利用も出来て本当に便利になつたと文化の恵みに感謝と喜びにあふれている。

② 大字上手綱石舟部落は関口、川側との中間にあつて戸数一九戸が点在し今迄に数回計画したが資金面で実現に至らなかつたが去る五月十日送電点燈されたものである。工事負担金五万五千円市補助一〇万円

③ 大字安良川丘部落は僅か六戸の小部落で戸数三三戸の工事費(何れも内線工事費は含まない)の負担は容易でなかつたが一日早く文化の波に浴しようとする部落民の熱意もだしがたく再三協議の上、市の助成もあつて十月十六日着工、同月十九日送電点燈、明るい電灯の下でラジオを聞きながら一家の団欒も

除く)と伝えられておると、誠に不遇の至りであるが、被害農家に対する共済対策は急務であり、あらゆる調査にもついで共済申請をなし、農家経済安定に努力を注ぎつけている。

電気スタンドにより子供たちの勉強も出来るようになったと喜びにあふれている。

工事負担金二万八千円市補助 八万六千円

④ 以上のほか高岡地区は殆んど部落共同の自家発電によつて電燈は勿論製

米製麦機等の施設があつて古くから文化生活を営んでいる。只莫大な維持費の捻出に悩があるので井堰等の工事に對し若干の市助成を行つており次々と無電燈部落が解消されていくことは誠に喜ばしいことである。

選挙人名簿縦覧について

さきに本年九月十五日現在で申請して戴いた基本選挙人名簿登録申請書にもついで基本選挙人名簿の調製を完了した。有権者各位は左記期間内に名簿をみて名簿にのつていないかを確かめ、のつていない場合は市選挙管理委員会に御申出下さい。

縦覧期間 十一月五日から十一月十五日まで

縦覧場所 高萩市役所

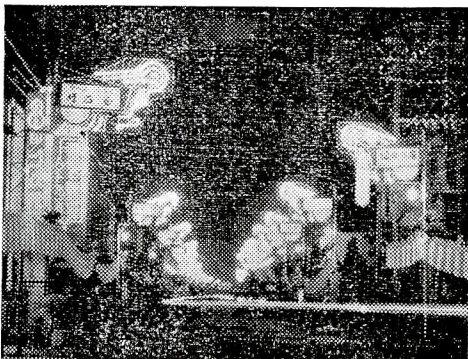
共同募金中間報告

赤い羽根募金については皆様の御協力によつて十月二十四日現在で一六三、一三四円に達しましたが、当市目標額 三六〇、〇〇〇円に對し四五、三〇〇円(約十二%)の不足額が残り、完遂には容易ではありません。尚一層の御協力をお願い致します。

生活科学展開かる

県では第六回生活科学展を十一月二日から三十日まで、四日間水戸市茨城会館で開くこととなつた。

今年に食生活改善と生活便利品、発明工夫品に重点を置き、豊富な展示と、また手軽にできる栄養料理の講習なども行いますので、近所さそいあつて参観するようお願いいたします。



写真は本町通りネオン夜景

活な発展の健全な社会生活に資する

生活科学展開かる

自衛官募集について

只今年度第四次自衛官の募集中であります。

今年最後の募集であり希望者は市役所に用紙がありま

すから申出下さい。締切期

日は十二月十五日です。

志願についての詳細は市役

所総務課にて御尋ね下さい

県では第六回生活科学展を

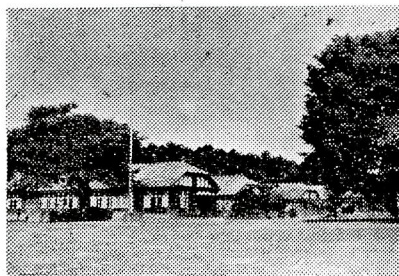
十一月二日から三十日まで、

四日間水戸市茨城会館で開

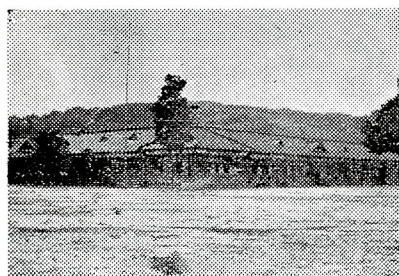
くこととなつた。

今年に食生活改善と生活便利

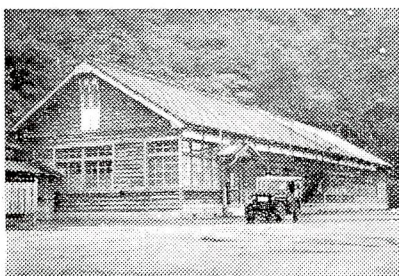
教育施設紹介 其二 10.1. 現在



高萩小学校 生徒数 1,892



松岡小学校 生徒数 962



若栗小学校 生徒数 53



大能小学校 生徒数 70

高萩性

高萩市大和町二丁目
矢代光史

高萩の戦災都市計画も歴代の町長さんや市長さん議員各位並に市民総力の結集によつて強力に押進められその完成を見る事が出来た。そして十月一日よりこの地区の字名が排されて本町、春日町、大和町と新町名が呼ばれることになりました。私達にとつて世紀の喜びであり記念すべき事であります。それで私達はこの喜びを形の上に表はし記念したいと言ふ事で山車を出して大いに祝賀祭を催さうと言ふ事に一致致しました。市当局よりも過分の助成を頂きました。そして区内の各位も出費多額の折からにも不拘多額の寄附を寄せられて各町内の若連を主体としたこの祭典は誠に心なごやかに然かもかつてない四合の山車を出すと云ふ盛況裡

に目出度終了する事が出来ました。私は地区内の一員として茲に更めて地区内外の市民各位の御協力に對し心からなる感謝感激の誠を捧げ御厚礼申上げます。私はこの行事の中にあつて町名の改正に依つて初めて行はれる事だけに言はば寄り合ひ世帯であります。酒の上で行事上の気障りなどがあつても出かしては等しと考へました。然し幸にしてそんな心配は徒勞でありそんな考へをもつた私が恥かしく愚かだつた事を無上の喜びとするものであります。高萩市民は常に平和を愛好し市発展の爲には總ゆる行事に突に協力的でありますことは本當に喜びに堪えな

い次第であります。町合併によつて県下に市中には町長のリコールとか市長を告訴したとか分市の騒ぎが起きて自治体の統一がなされないとか数多くの様々な面白くない記事を開で見ます。然し当市は人口こそ三万余で少ないが合併直後から一致団結になつてやがて空気の内に市政の進展を見つてあります事は感激に堪えない次第です。これその他に類例をあまり見られぬ当市の市民性のよさが然しわが市で私はこれを高萩性と言ひたい。市会も奥に円満であります勿論議論は大きいあります然しいつれも市長を中心とした市発展の爲の協力的な呼びであります。選挙の時は小峰さんに賛成しなかつた当時の町議も沢山居ります。私もその一人であります。然し審判が降され大多数が是とした時これに反対し続ける理由はないと存じます。市民の代表として選ばれた私達に与えられた責任は寧ろ「協力」でなければなら

ないと考えます。私達は市の発展を祈念して止まない。そして代表たる市長を尊敬致します。そして全力をあげて協力又協力で押進み使命を全うしたいと念じて居ります。感情や派閥で反対は反対だとして事毎に戦うのを道だと思ふ。これが筋を通したのだ等と考へる思想は地方自治体の市町村にはもつての外と心得て居ります。市長の徳もさる事乍ら多くの市民の声を本位として民主的にかつての反対も協力にと明朗市政を打立て、少く議会の姿は正に市民の持つ高萩性を遺憾なく發揮されて居るものと信じます。誕生して日なお浅い当市には幾多山積まれた事業があります。然し豫算の關係が仲々思ふ様な進捗を見る事が出来ません。特に誠に残念なものに滞納がある。でも市民各位の御協力で納税成績も上昇して参りました。理事者の努力で国や県からの補助、起債も該当事業毎に

健康な村づくり

一日中腰をまげて仕事をする農民、家庭の雑事で小さな主婦達の運動には何がよいだろうと長野県或る村で考えたのが全戸民が誰でも出来るバレエボールです。

この部落では毎朝午前六時のサイレンを合図に、仕事着に着替へた老若男女が氏神様の境内や世話役の庭に集つて審判の鳴らす笛とともに「ワツハツハツ」「アツハツハツ」の笑聲もにぎやかにバレエボールが始まります。孫に手を引かれたおばあさんまで仲間に入つて楽しい一ときが過ぎるのです。田植後や刈取り後の休日には、各家庭対抗の大会が開かれます。バレエボールを始めてからこの部落の人達の顔色は明るく、健康そうな体格に変わりました。

想を実現したいと考えます。なお一議員の立場から潜越な事を申しあげる様ですが各種の会合等で市政の事で御聞きしたいと言ふ場合は御遠慮なく市当局へ御申越頂ければ理事者なり議員なり御説明は致しますので御利用願ひたいと存じます。最後に皆様と共にこの尊い高萩性を益々高揚し当市の発展を祈念して歌説を終りたいと存じます。(筆者は現市会議員文教厚生委員長)

農家の皆様へ！

自作農維持創設資金制度について

- 病氣災害などで一時的な経済危機にそぐうした農家が、その危機を克服して経営を建てなおそうとするのに資金がいるとき、また、地方の平均ぐらゐで土地を広げて経営を安定しようとするに資金がいるときなどに貸し付けられる自作農維持創設資金の制度ができました。
- ① 申込のできる農家は、次の五つの条件にあてはまらなければなりません。
 - 1、経営が地方のおおむね申位か、それ以下であること。
 - 2、農林水産業による収入が総収入の大半をしめること。
 - 3、農業に精進する見込があること。
 - 4、この資金を借り受けるほかに、適当な資金のくめんがでない事情にあること。
 - 5、この資金の借受をきつかけに再建計画がたてられ経営の安定する見込があること。
 - ② 借入資金の使いみちは、次の四つにかぎられます。
 - 1、自作地をかうのに必要な資金。
 - 2、小作地をかうのに必要な資金。
 - 3、相続により農地が細分することを防ぐため、他の共同相続放棄などをしてもらうのに支拂う資金。
- 4、次の理由により、自作地を手離さなければ資金のくめんがでないような農家に貸し付けられる資金。
- (イ) 病氣、負傷が原因で、必要になった資金
 - (ロ) 災害が原因で必要になった資金
 - (ハ) 自作地を買つたために生じた負債の整理資金
 - (ニ) 小作地を買つたために生じた負債の整理資金
 - (ホ) 相続による農地の細分化防止のために生じた負債の整理資金
 - (ヘ) 病氣、負傷により生じた負債の整理資金
 - (ニ) 災害により生じた負債の整理資金
 - ③ 貸付の条件は、次のとおりです。
 - (イ) 一農家当り最高二十万円
 - (ロ) 年利率五分
 - (ハ) 償還期間二十年以内（据置期間を含む）
 - (ニ) 据置期間は三年以内
 - (ホ) 償還方法は分割拂込
 - (ヘ) 申込の手続は、次のとおりです。
- 自家の家族や資金の現状、作付、収入、支出など年間の経営状態、借受資金の運用等の経営再建計画を記載した農業経営安定計画書を農業委員会に提出して知事に借受資格認定を申請する。借受後は次のことを実行しなければなりません。
- ① 農業改良普及員の指導を受けて安定計画を達成（農業委員会）

生活改善の一例

上手綱 小 松 信 英

盆彼岸が済んだと思つたのも束の間もう正月が近づいて来た、實際私共の身辺には昔から継承されて来たいろいろの風俗習慣があつて

ジフテリア百日セキ

予防接種日割さまる

第一期百日セキ、ジフテリア予防接種を次により実施いたしますから該当者は洩れなく受けて下さい。

一、該当者は昭和三十年十一月より昭和三十一年五月までに出生の者。

二、実費として一種類一回毎に一〇〇円いただきます。

三、注 意

① ジフテリアの予防接種は三回接種を受けなくては効果はありませんので必ず三回受けて下さい。

② 最寄の接種場で受けても差支えありません。

四、実施期日及び場所は次の通りです。

場 所 及 日 割		場 所 及 日 割		場 所 及 日 割		場 所 及 日 割	
高萩市公会堂	十一月十二日	十一月廿六日	十二月十日	午後一時	時～二時	高萩市公会堂	十一月十二日
千代田診療所	十一月十三日	十一月廿七日	十二月十一日	午前十一時	時～十二時	千代田診療所	十一月十三日
秋山小学校	十一月十四日	十一月廿八日	十二月十二日	午後一時	時～二時	秋山小学校	十一月十四日
望海診療所	十一月十五日	十一月廿九日	十二月十三日	午後二時	時～三時	望海診療所	十一月十五日
松岡公民館	十一月十六日	十一月三十日	十二月十四日	午後二時	時～三時	松岡公民館	十一月十六日
安良川公民館	十一月十七日	十二月一日	十二月十五日	午後二時	時～三時	安良川公民館	十一月十七日
上君田小学校	十一月十八日	十二月二日	十二月十六日	午後二時	時～三時	上君田小学校	十一月十八日
下君田小学校	十一月十九日	十二月三日	十二月十七日	午後二時	時～三時	下君田小学校	十一月十九日
横川小学校	十一月二十日	十二月四日	十二月十八日	午後二時	時～三時	横川小学校	十一月二十日
花貫中学校	十一月二十一日	十二月五日	十二月十九日	午後二時	時～三時	花貫中学校	十一月二十一日
中戸川小学校	十一月二十二日	十二月六日	十二月二十日	午後二時	時～三時	中戸川小学校	十一月二十二日
大能小学校	十一月二十三日	十二月七日	十二月二十一日	午後二時	時～三時	大能小学校	十一月二十三日
若栗小学校	十一月二十四日	十二月八日	十二月二十二日	午後二時	時～三時	若栗小学校	十一月二十四日

改善した一例を御紹介しましょう。この改善に依り新盆の家一戸々の経費の節減が出来た事は言うまでもありません。

さて当夜は和野のグラウンドに高い櫓を組み提灯花電灯を配し、櫓の下には盆棚を設け、新亡の位牌を安置し供物花等を飾つた。

午後七時大太鼓がドンドンと打たれるとこの合図と共に盆棚の前に会社幹部、遺族全員、一般等が着席、開式の辭と共に法要開始焼香を以て式終了と共に盆棚を中心として盆踊りを始めたのであります。

あの和野広場は提灯と折柄の月の光で、赤々と輝き踊りを取巻く浴衣姿の人々の頭上に、七色の紙で作つた大きな盆旗が色美しく長くゆれてゐる様は、何とも言へない詩的な莊嚴なものでした。私も当夜は導師として泌々とした法悦を覺えたのであります。

高萩炭礦今回のこの企画は生活改善の好範例として敬服をして推賞した次第です（長安寺住職、選挙管理委員、民生委員）

新生活学校にて
体験発表

第六回新生活モデル団体として参加した第二部門（生活と環境の保健衛生的改善）で三十一年度受賞は決定した向洋礦万代町では十月三十日より三日間常陸太田市の西山研修所に於て環境衛生についての体験発表を行うことゝなつた。